

# 災害時は一人ひとりが命を守る行動を

近年、大雨による災害が長期化・激甚化するケースが増えています。いざという時にいち早く避難行動ができるよう、普段からの備えが必要です。自宅などの状況を確認し、災害時にとるべき行動について、事前に家族で話し合っておきましょう。

【問い合わせ】防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(☎282-1711 内線1522)

## 「東海村自然災害ハザードマップ」をご活用ください

台風や大雨などの際に、洪水や土砂災害の恐れがある区域や避難に関する情報をまとめた「東海村自然災害ハザードマップ」。災害発生に備えていざという時にどう行動するか、ハザードマップを活用して、家族の「マイ・タイムライン(避難行動計画)」を作成しておきましょう。



### 【主な掲載内容】

#### ■基本となる自然災害への備え

▽自然災害(地震・津波・風水害)の基礎知識や解説  
▽災害への日頃の備え  
▽非常持ち出し品リスト  
▽災害時の情報収集手段  
▽避難所一覧  
▽緊急連絡先や避難所、家族の連絡先などが記入できる「わが家の防災メモ」

#### ■河川の氾濫に関するもの

▽久慈川氾濫による最大の浸水想定区域(浸水深・浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域)

#### ■大雨や台風接近等による水害に関するもの

▽過去の浸水区域、内水氾濫範囲

ハザードマップは、令和4年2月に全戸配布したほか、村公式ホームページからもダウンロードできます。



## 災害時の情報収集手段を確認しましょう

村では、災害時に防災行政無線放送や緊急速報メールのほか、村公式SNSを用いて災害情報をお知らせします。

また、「川の防災情報」(国土交通省)や「キキクル」(気象庁)では、気象や水害・土砂災害に関する情報をリアルタイムで確認できます。これらのサイトを活用することで、警戒レベル等に応じて避難準備を進めることができ、逃げ遅れを防ぐことにつながります。非常時に慌てることがないように、あらかじめ情報収集手段を確認しておくことが大切です。



◀「川の防災情報」



◀気象庁HP

## 茨城県・東海村避難力強化訓練を実施しました

7月16日、村と茨城県が共同で、台風の影響による河川氾濫を想定した「避難力強化訓練」を実施しました。今回の訓練には、久慈川流域の地区の住民と関係機関の計236人が参加し、避難情報の発令や「マイ・タイムライン」に基づいた住民避難のほか、避難所設営の訓練などが行われました。

視察に訪れた大井川茨城県知事は参加者に向けて「いつでも起こりうる災害に対し、マイ・タイムラインの作成を行うなど、防災意識を持って災害への備えをしていただきたい」と呼び掛けました。

